

院内がん登録

2021年症例数の報告

地域がん診療連携拠点病院
水戸医療センター

院内がん登録について

1.調査の目的と背景

平成19年4月よりがん対策基本法が施行され、その定める、がん診療の均てん化を推進するために、国立がん研究センターを含めたがん診療連携拠点病院が指定され、拡大されてきた。これらのがん診療連携拠点病院は、各都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各医療機関との有機的な連携を図る役割を持つと共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進捗を評価するためにそのデータを国立がん研究センターに提出することが指定要件として定められている。

2.登録対象

①がん診療連携拠点病院等での院内がん登録においては、登録の対象を全国がん登録と同様に「国際疾病分類腫瘍学第3.2版(ICD-O)における形態コードの性状コードが2(上皮内癌)もしくは3(悪性、原発部位)のものとする。(2020年症例より3.2版に変更)

2016年より中枢神経腫瘍・消化管間質腫瘍(GIST)・境界悪性の卵巣腫瘍の一部も登録する。

②入院外来を問わず、自施設において当該腫瘍に関して初めての、診断及び又は治療等の対象になった腫瘍。

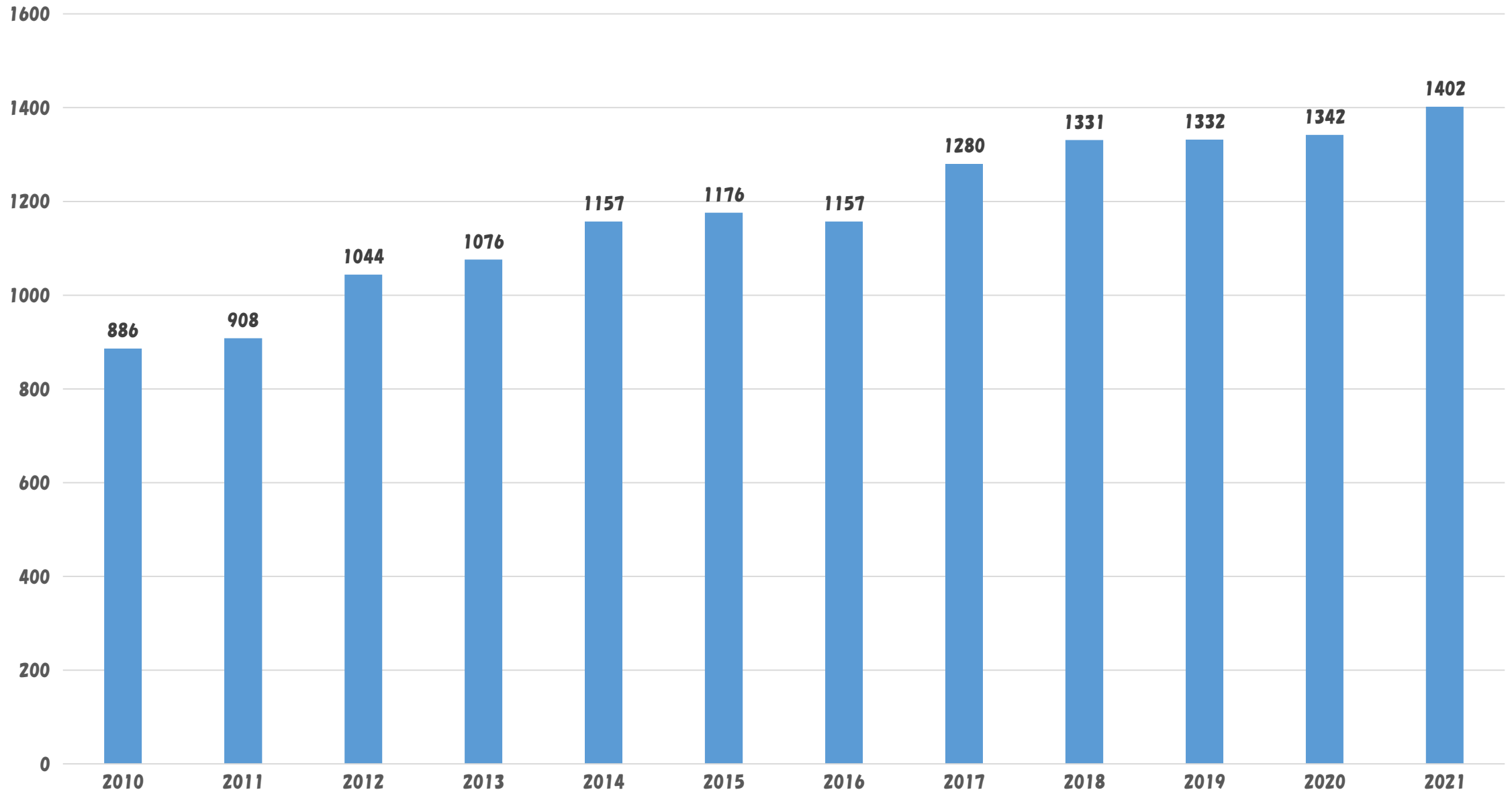
③1腫瘍1登録とする。

3.登録項目

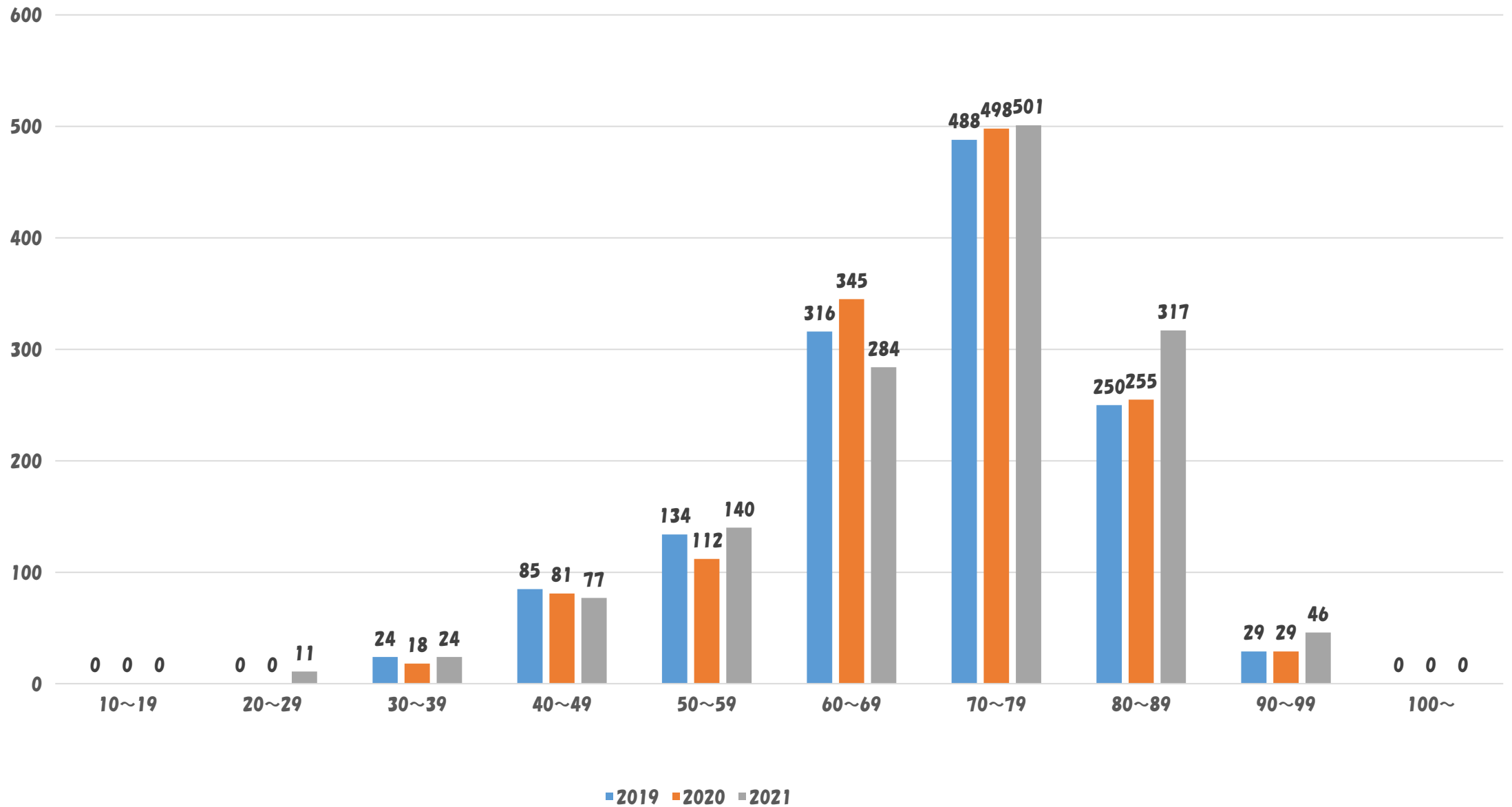
がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版に沿って登録する。

4.当院登録開始日 2010年1月1日

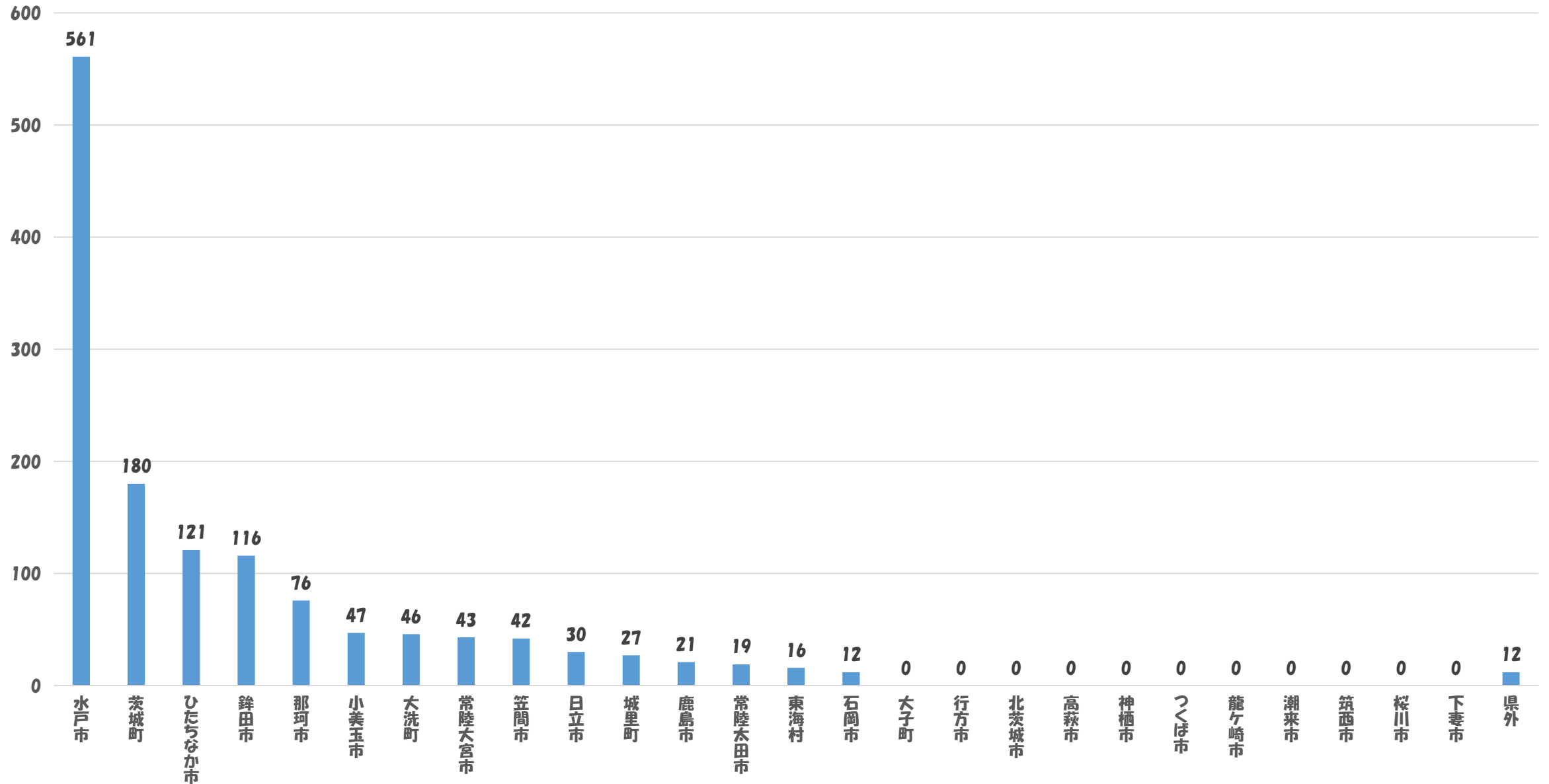
登録件数の推移2010年～2021年



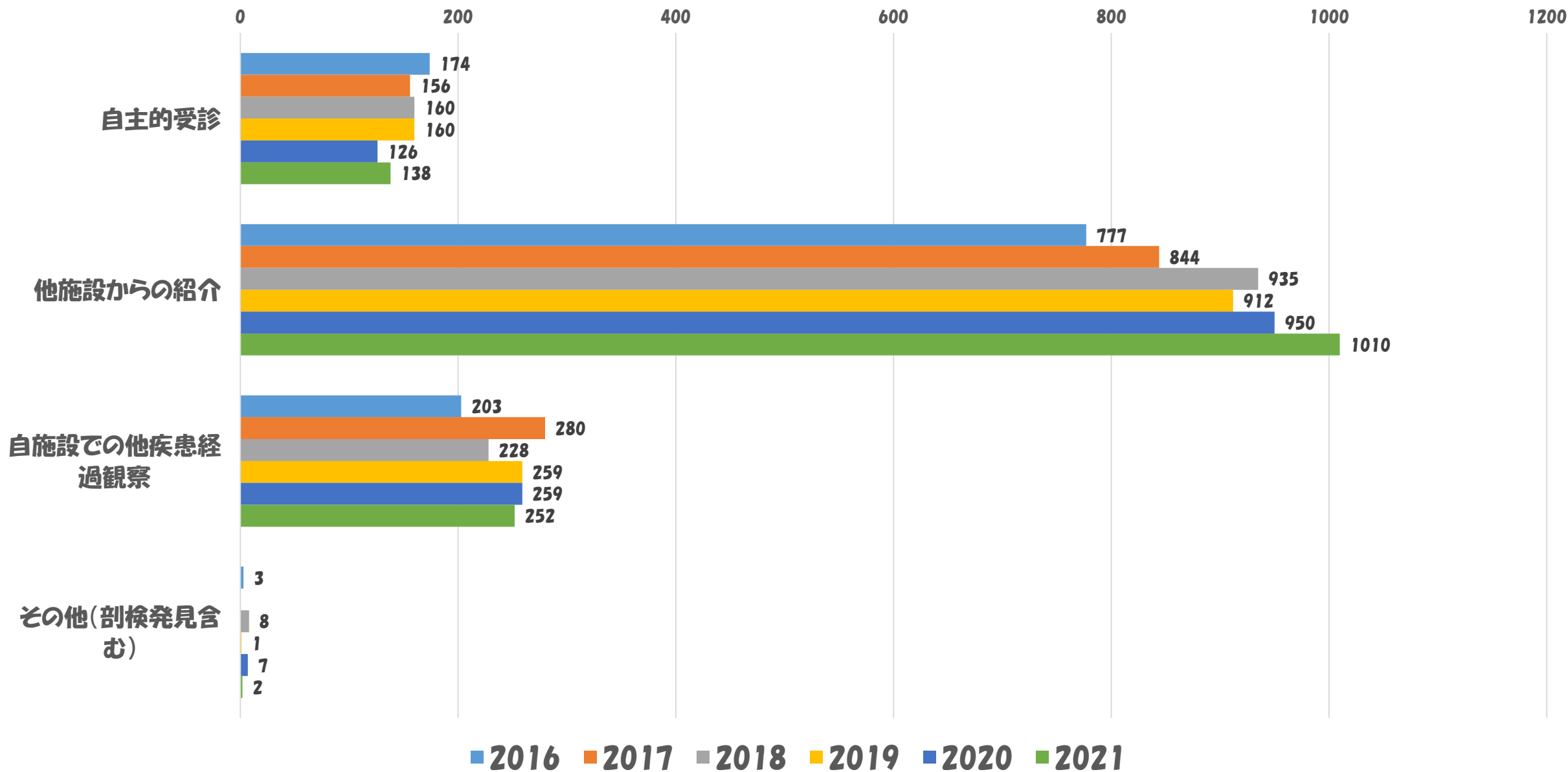
年代別登録件数2019～2021（10件未満0表示）



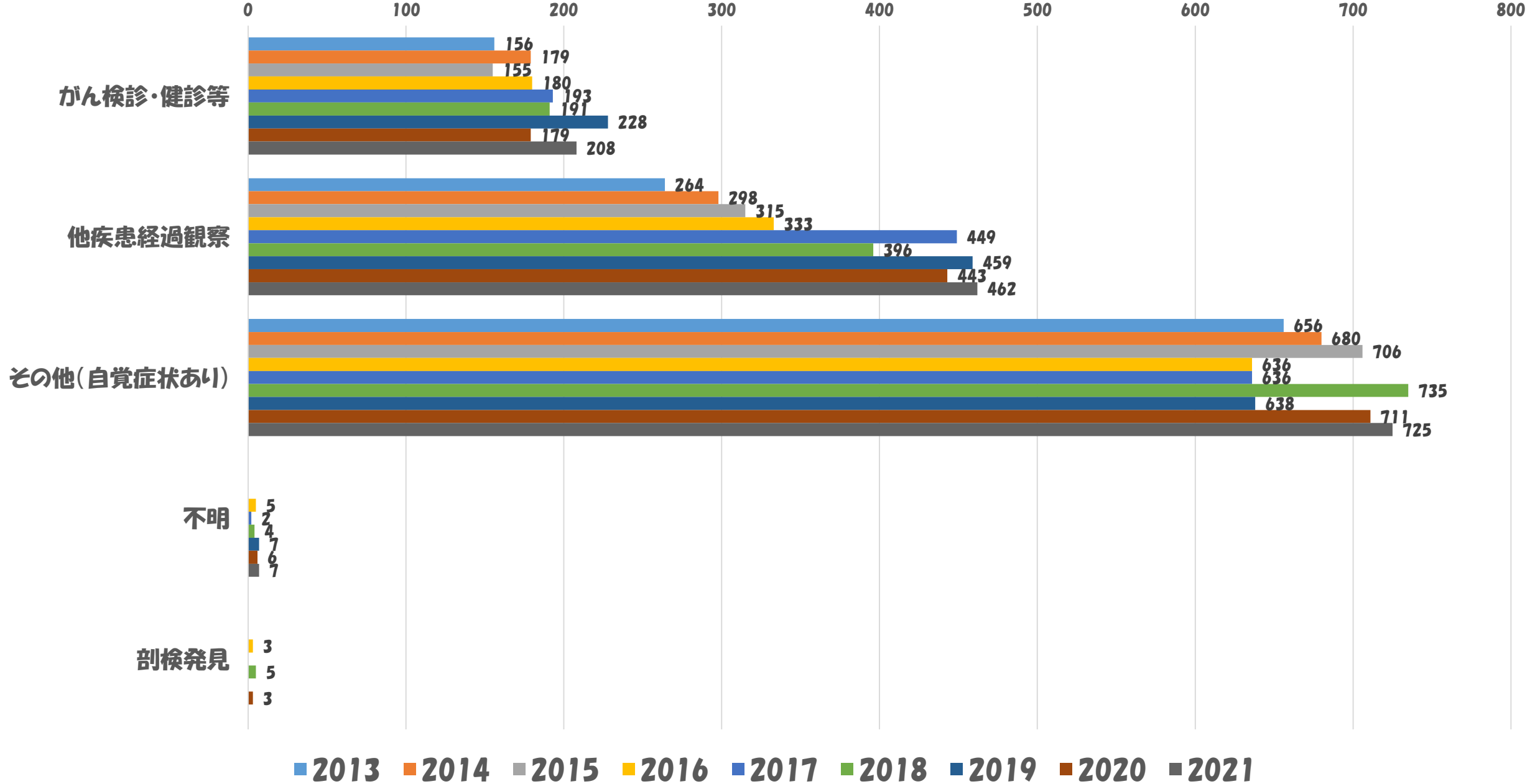
市町村別登録数(10件未満0表示)



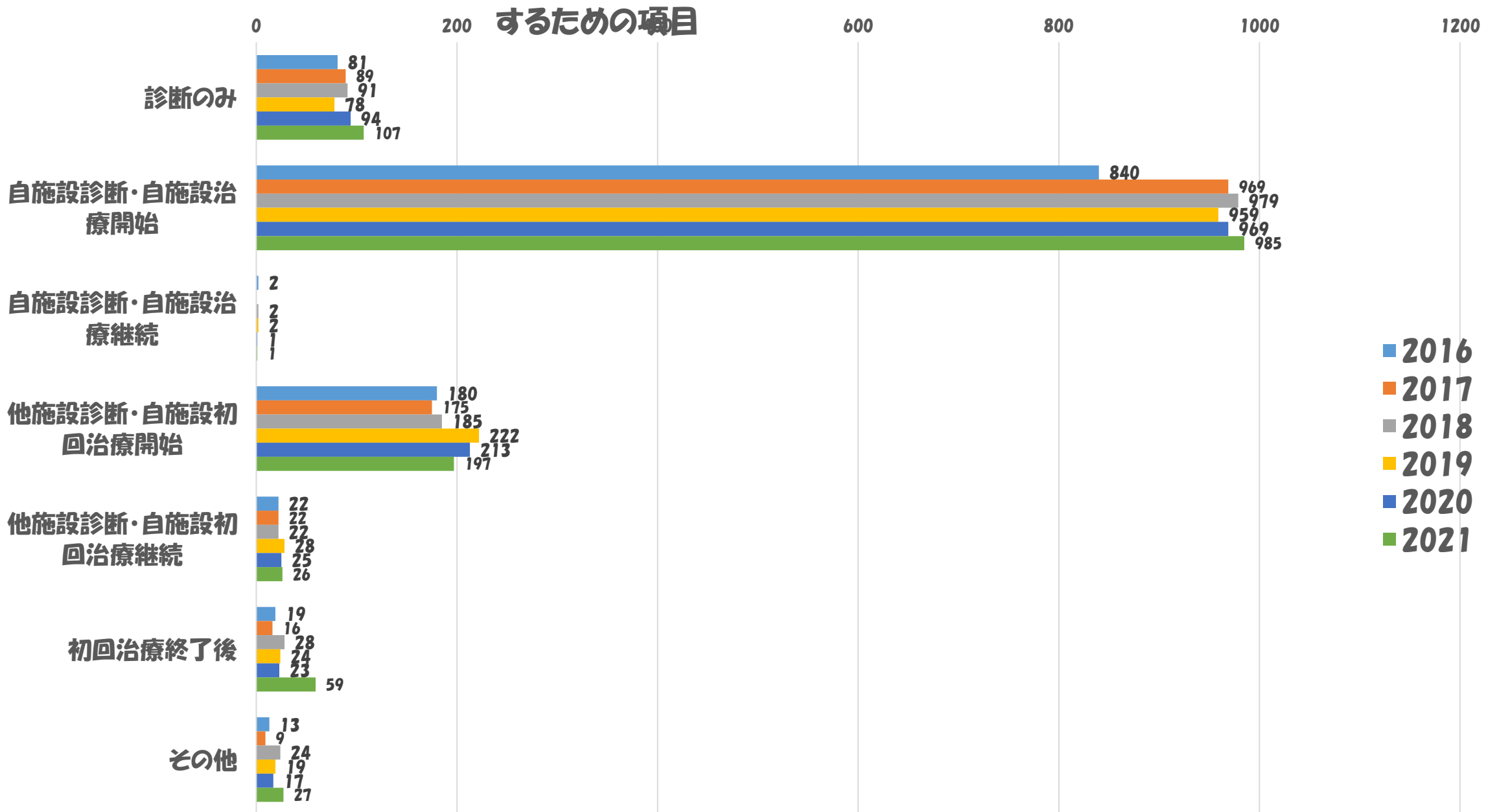
来院経路(当該腫瘍の診断・治療のため、患者がどのような経路によって自施設を受診したのかを把握する項目)



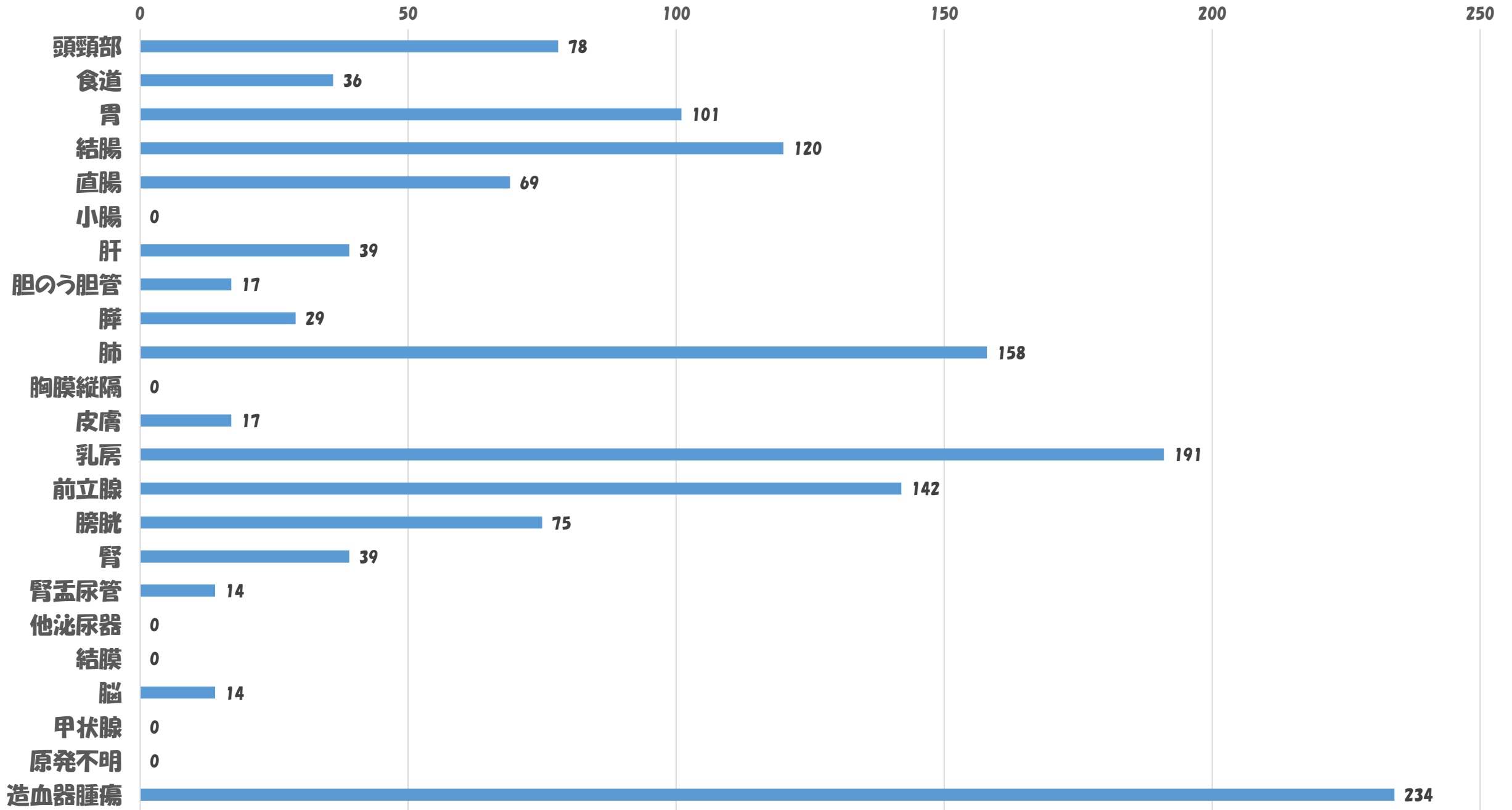
発見経緯(当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目)



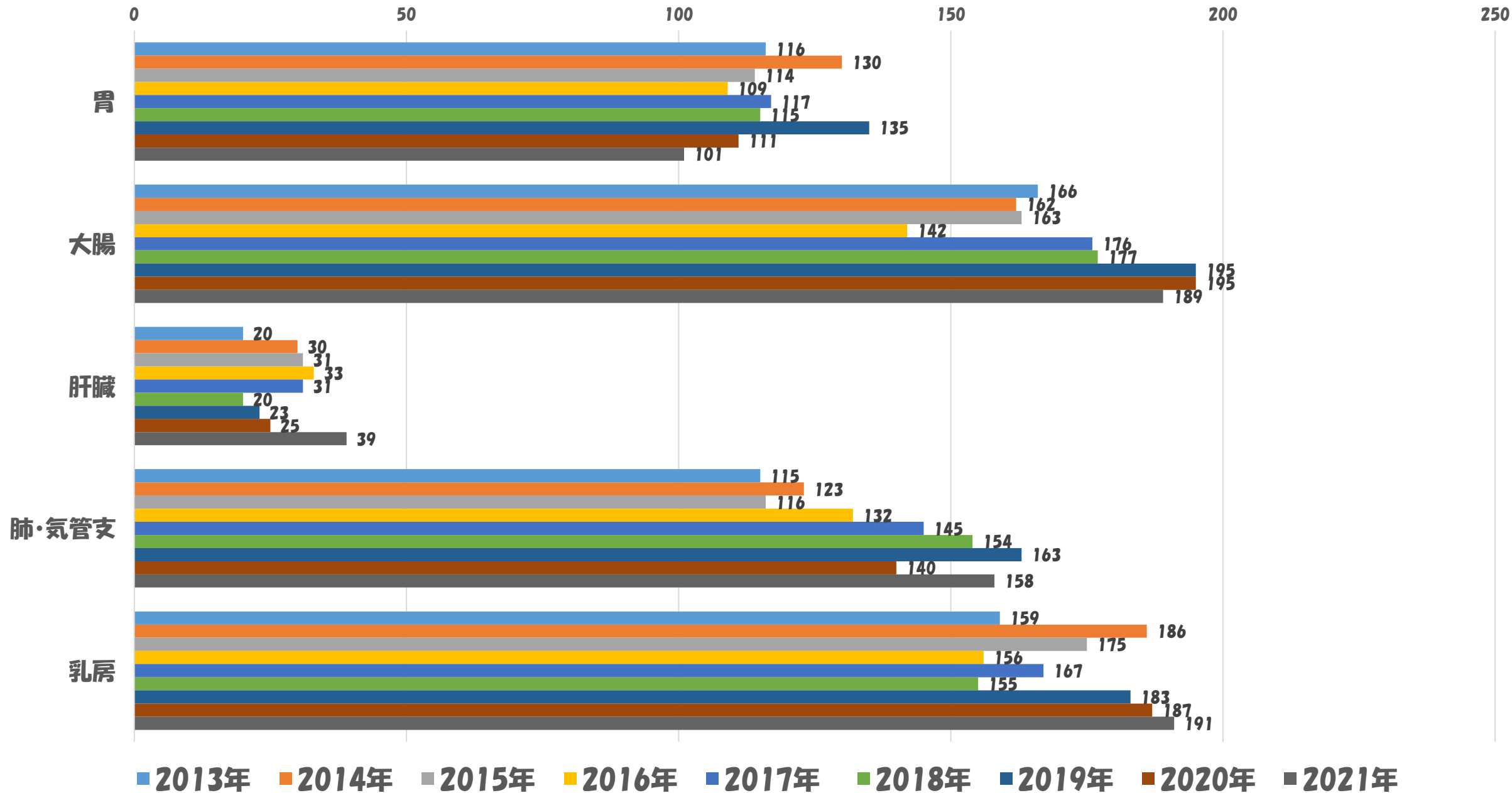
症例区分(当該腫瘍の診断及び初回治療の過程に、自施設でどのように関係したかを判断



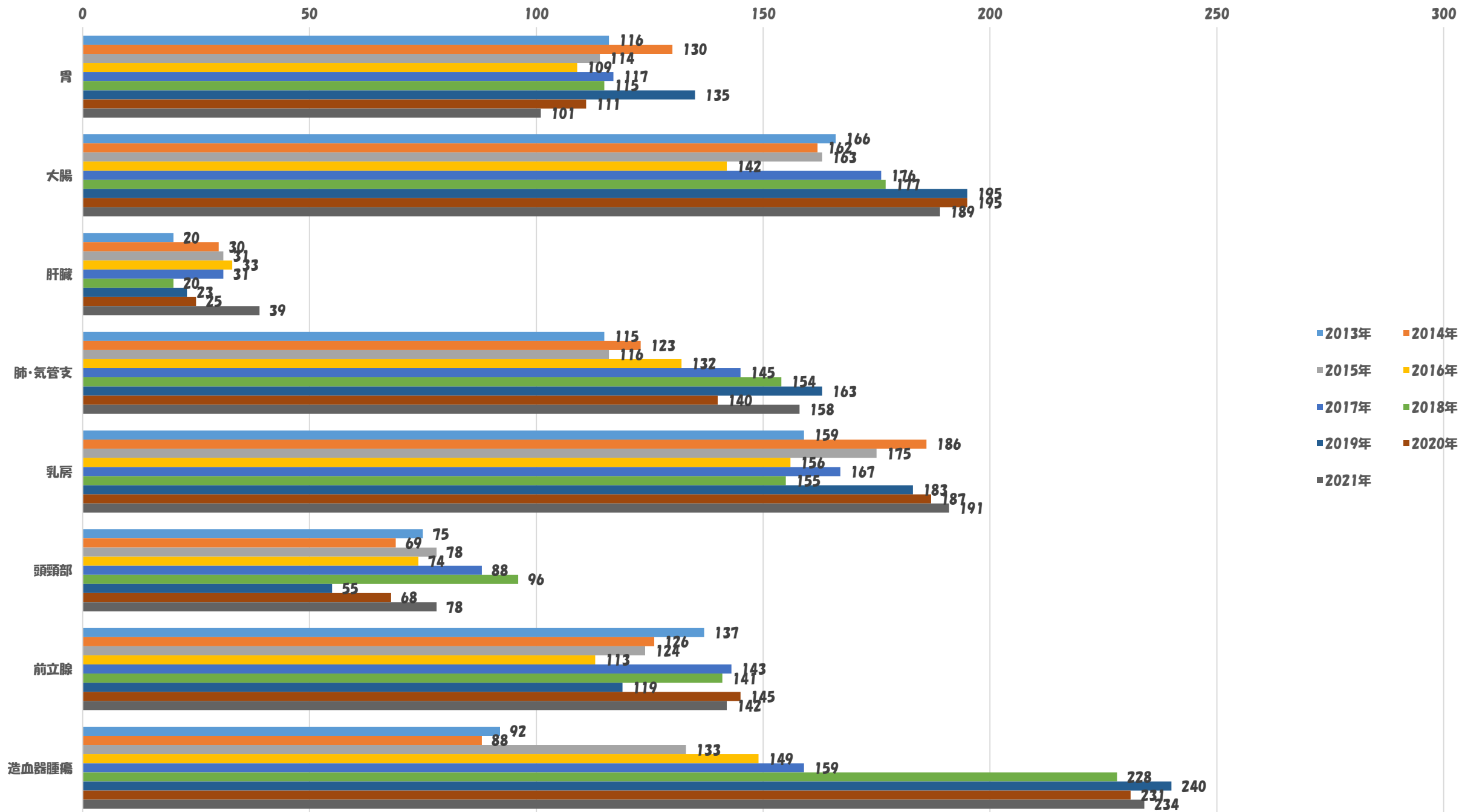
疾患別登録件数(10件未満0表示)



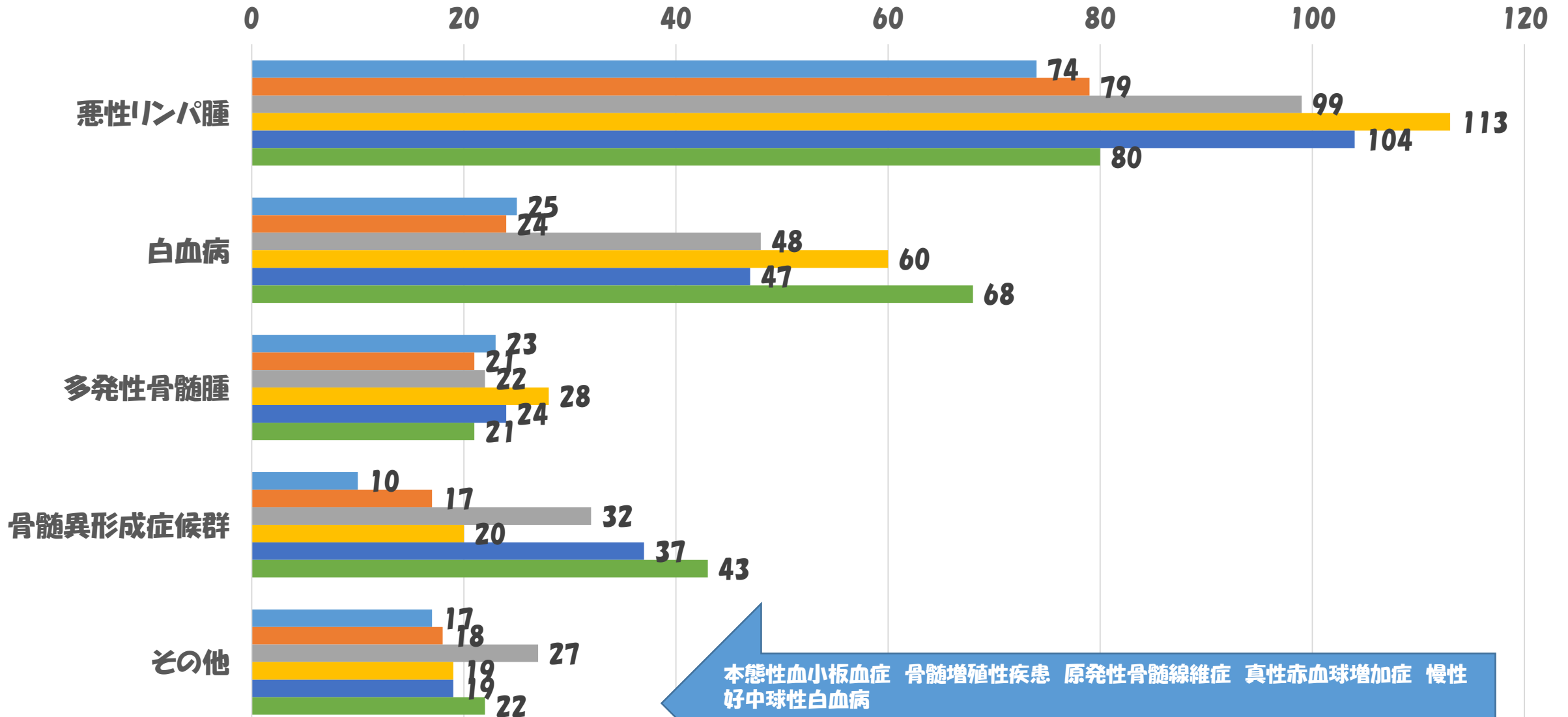
5大がん登録数(2013年~2021年)



5大がん+頭頸部+前立腺+造血器 2013~2021



造血器腫瘍別登録数 2016~2021



本態性血小板血症 骨髄増殖性疾患 原発性骨髄線維症 真性赤血球増加症 慢性好中球性白血病

■ 2016(149件) ■ 2017(159件) ■ 2018(228件) ■ 2019(240件) ■ 2020(231件) ■ 2021(234件)